

## 第32回国民文化祭・なら2017 基本理念

○「大和は国のまほろば たたなづく青垣山こもれる やまとしうるはし」(古事記)と称えられた奈良は、日本文化を代表する様々な文物の発祥の地でもあります。同時に、古来の文化と渡来の文化が交流・融合を果たし、日本文化独自のダイナミズムが生み出された場所です。

○現在、日本各地で祭りや踊りなど地域に根ざした伝統行事があり、日常の稽古事や趣味を含め盛んに文化活動が行われているのは、こうしたダイナミズムの下で文化が育まれ、受け継がれてきたからにほかなりません。

○「第32回国民文化祭・なら2017」は、国家形成の地である古都奈良から日本文化の真髄を探り、その厚みと深みを再認識するとともに、今に繋がる多種多様な文化活動を堪能、展開することにより、継続性と包容力を特色とする日本文化を広く発信する機会とします。

○奈良県は、国民文化祭の開催を、文化を奈良県のブランドとして全国に、そして2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界に力強く発信していく契機とします。古都奈良が日本文化の原点であったように、国民文化祭で生まれる新たな交流を触媒として日本各地の文化力を盛り上げ、我が国が目指す文化芸術立国の礎となることを目指します。

### 3つのキーワード

**日本文化の源流を探る**～日本文化の源流を国際的つながりも視野に掘り起こす

**文化の今を楽しむ**～積み重なった今ある日本文化の厚み、深みを堪能する

**文化芸術立国の礎を築く**～文化の交流で地域に元気をつくる